



令和5年 新しい年の幕開けです！

すがすがしい新年を迎え、今朝は、子供たちも希望に満ちた表情で登校してくれました。一人一人の子供が、学年のまとめを成し遂げ、次年度に向けた準備ができるよう、今年も職員一同全力で取り組んでまいります。



新年に向けて・・・保護者(家庭)・地域とともにある学校

子どもを植物に例えるなら、子供の周りには大人たちは何かを考えてみました。

植物は根が土台となって栄養を吸収し、力強く育っていきます。簡単には倒れないしっかりとした土台をつくるために、いつも身近にいて支えてくれる「土」は、保護者(家庭)と言えます。

石ころだらけの土は、栄養が行き届きません。必要な栄養＝「安らぎや安心感」を与えてくれる場所として家庭の役割があります。怒られてばかりや昼夜逆転などの生活環境では、安心感が損なわれます。

また栄養が多すぎたり、偏ったりすると根が腐ってしまいます。勉強だけ、社会体育だけに熱中してしまうことなく、バランスよく様々な体験活動をさせてあげることが子供への良い栄養となります。良い養分を蓄え、ミミズなどの小動物が安心して暮らせる土(環境)を作ってあげることが保護者(家庭)の役割と言えます。

では、地域の役割は何でしょう？

地域は子供が伸び伸びと育つよう、広く大きい視野で見守っている、「太陽や雨」と考えます。太陽は植物が育つために適した温度を提供してくれます。また、時には植物が自ら栄養を作り出す光合成を助けてくれます。一方、植物が枯れないように雨も必要です。

読み聞かせ、〇付け先生や学習支援先生など、地域学習におけるゲストティーチャーは、子供の感性や学ぶ意欲を助けています。交通安全スタッフや派出所警察官は、子供の安全を見守っています。放課後子ども教室やおやじの会は、子供が生き生きと活動する豊かな体験の場を作り出し、体育的・文化的感性を伸ばしてくださっています。こうして、子供が伸び伸びと元気に育つ環境を生み出す地域は、ふるさと吉井を背負う子供のために奉仕的に取り組んでいます。

では、学校の役割は何でしょう？

教職員には転勤があり、植物の近くにとどまることができません。植物の周りを流れる「風」と考えています。日常の風は、植物にやさしく吹き、新鮮な空気を送ってくれます。しかし時には強風を与え、茎を押し、根を圧迫して刺激を与えます。この刺激は根を強靱に育て、力強い成長を助けます。土と太陽や雨と風・・・植物がたくましく育つためにはどれも大切な要素です。

保護者・地域・学校の三者が共に手を携え合っていく吉井北小学校を、今年もよろしくお願いいたします。

